



(2) B票の作成方法【建築一式工事業の場合】～ B票が無記載の場合には、受検資格が確認できないため受検できません～

**B票は、本技術検定の受検申込で一番大切な書類です。**

受検資格に必要な実務経験年数及び実務経験内容の記載及び証明がなければ受検できません。

1. 記入は受検申込者本人が行ってください。
2. 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さずていねいに書いてください。消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
3. **実務経験年数はまず令和5年7月31日現在で記入し、不足する場合にのみ8月1日以降の欄を記入してください。**
4. 実務経験年数は、直近の経験から受検資格を満たす年数で記載し、証明してください。
5. **B票の訂正は、訂正箇所を二重線で抹消し、証明者の訂正印を押印してください。**
6. 申込完了後は、実務経験証明書と経験内容の訂正はできません。
7. 受検申込者が申請内容を偽り、不正な方法により受検した場合、または事実と異なる内容の実務経験証明書を提出した場合等は、国土交通省により受検禁止又は合格取消しの処分が科されます。
8. 申請の内容については、改めて確認させていただく場合があります。
9. 申請書は切り離さないでください。

**B票記入例**

第二次検定のみ申込専用

**B票** 令和5年度2級技術検定実務経験証明書

受検申請者の下記の実務経験内容は、裏面チェックリストにより適正に記載されていることを確認し、下記のとおりであることを証明します。

国土交通大臣指定試験機関  
一般財団法人建設業振興基金 理事長 殿  
証明日：令和 5年 7月 11日

①会社又は事業所名、②所在地、③証明者役職名、④証明者氏名の記載が必要です。

証明者  
会社又は事業所名 ○○建設株式会社  
所在地 東京都○○区○○町5-6第1ビル3F  
役職名 代表取締役  
氏名 神谷 三郎

受検申請者 氏名 建設 二郎 生年月日 S11年12月4日 本籍 東京(都道府県) 証明者との関係 社長と社員

現住所 東京都○○区○○町1-2-34 ○○ハイツ205

勤務先名称・所在地 (*工事名ではありません)	所属部署(部課名)	在職期間中の受検種目に関する実務経験の内容		在職期間中の受検種目に関する	
		主な工事種別・工事内容	主な従事した立場	(年月日)	(年月日)
勤務先名称 (株)□□工務店 勤務先所在地 東京都□□区△△9-87	工務部 工務課	工事種別 建築一式工事 工事内容 戸建て住宅新築工事	施工管理	S H 2年4月	①
勤務先名称 ○○建設(株) 勤務先所在地 東京都○○区○○町5-6第1ビル3F	本店 工事部 工事課	工事種別 a 建築一式工事 工事内容 b 共同住宅新築工事	c 施工管理	S H 3年4月 S H 5年7月	② ③ ④
勤務先名称 勤務先所在地		工事種別 工事内容		S H 年 月 S H 年 月 S H 年 月 S H 年 月	⑤ ⑥
令和5年7月までの建築工事に関する実務経験年数(①～④)の合計年数を記入				合計	⑤ 3年4ヶ月
本年8月1日～11月11日の間の予定の実務経験記入欄(7月末までで受検資格を満たす場合は記入不要)					
勤務先名称	部署	工事種別	従事した立場	R5年 月	⑥
勤務先所在地		工事内容		R5年 月	ヶ月

注意事項 この証明事項に事実と相違がある場合は、合格及び受検実績が取り消される場合があります。  
事実と異なる実務経験証明を行い、不正合格者を技術者としている場合、建設業法に基づき処分・告発の対象となることがあります。

現在勤務している会社の事業主による証明が必要です。過去の会社の経験も含めて、現在の勤務先の証明で結構です。受検申込者自身が代表者の場合も必ず**B票**を作成した上で、自分で証明し、証明者との関係欄には「本人」と記入してください。(この場合、自身が代表者であることの確認資料の添付が必要です。)

受検種別に係る建築工事を施工管理等した期間のみの合計を記入してください。

①には、建築施工管理に関するあなたの経験のうち代表的な工事種別(業種)を記入してください。  
②には、①で記入した工事種別のうちあなたの担当した代表的な工事内容を記入してください。  
③には、あなたの工事現場での従事した立場を記入してください。(部長など会社での役職名ではありません。)

工事種別、工事内容、従事した立場は、下表を参考に記入してください。

施工管理等した期間(①～④)の合計を記入してください。

実務経験は勤務先ごとに記入してください。この用紙で書ききれない方は、本用紙を記入前にコピーし、追加記入してください。その場合、追加記入した用紙にも証明者欄(会社又は事業所名、所在地、役職名、氏名)の記入が必要です。

**注意**

工事種別・工事内容・従事した立場は、下表から選択してください。(P7を必ず参照してください。)  
※受検種別：躯体または仕上げの方は、P21～22の記入例を確認してください。

受検種別	a 工事種別	b 工事内容	
建築 (ゼネコン等の方)	■ 建築一式工事	■ 事務所ビル建築工事 ■ 共同住宅建築工事 ■ 一般住宅建築工事 ■ 建築物解体工事等	c 従事した立場 ○ 施工管理(請負者の立場での現場管理業務) ○ 設計監理(設計者の立場での工事監理業務) ○ 施工監督(発注者の立場での工事監理業務)



(3) B票の作成方法【専門工事業の場合】

**B票**は、本技術検定の受検申込で一番大切な書類です。受検資格に必要な実務経験年数及び実務経験内容の記載及び証明がなければ受検できません。

1. 記入は受検申込者本人が行ってください。
2. 記入は黒のボールペンを使用し、字を崩さずていねいに書いてください。消せるボールペン、鉛筆などは、記載内容が消滅することがありますので、絶対に使用しないでください。
3. **実務経験年数はまず令和5年7月31日現在で記入し、不足する場合にのみ8月1日以降の欄を記入してください。**
4. 実務経験は、直近の経験から受検資格を満たす年数で記載し証明してください。
5. **B票**の訂正は、訂正箇所を二重線で抹消し、証明者の訂正印を押印してください。
6. 申込完了後は、実務経験証明書と経験内容の訂正はできません。
7. 受検申込者が申請内容を偽り、不正な方法により受検した場合、または事実と異なる内容の実務経験証明書を提出した場合等は、国土交通省により受検禁止又は合格取消しの処分が科されます。
8. 申請の内容については、改めて確認させていただく場合があります。
9. 申請書は切り離さないでください。

B票記入例

第二次検定のみ申込専用

**B票** 令和5年度2級技術検定実務経験証明書

受検申請者の下記の実務経験内容は、裏面チェックリストにより適正に記載されていることを確認し、下記のとおりであることを証明します。

国土交通大臣指定試験機関  
一般財団法人建設業振興基金 理事長 殿  
証明日：令和 5年 7月 11日

①会社又は事業所名、②所在地、③証明者役職名、④証明者氏名の記載が必要です。

証明者  
会社又は事業所名 株式会社〇〇内装  
所在地 東京都〇〇区〇〇町7-8  
役職名 代表取締役  
氏名 虎野 太郎

受検申請者 氏名 建設 二郎 生年月日 S11年12月4日 本籍 東京 都道府県 証明者との関係 社長と社員

現住所 東京都〇〇区〇〇町1-2-34 〇〇ハイツ205

勤務先名称・所在地 (※工事名ではありません)	所属部署(部課名)	在職期間中の受検種目に関する実務経験の内容		在職期間中の受検種目に関する実務経験の期間	
		主な工事種別・工事内容	主な従事した立場	年	月
(株)〇〇内装	工事課	内装仕上工事	施工管理	S12	4月
東京都〇〇区〇〇5-6		内部間仕切壁工事 床仕上げ工事、壁張り工事他	補助	S13	3月
(株)〇〇内装	工事課	a 内装仕上工事	c 施工管理	S13	4月
東京都〇〇区〇〇町7-8		b 内部間仕切壁工事 床仕上げ工事、壁張り工事他		S15	7月
				S1	月
				S1	月
				S1	月
				S1	月
				S1	月
				S1	月
合計年数を記入				3	4ヶ月

本年8月1日～11月11日の間の予定の実務経験記入欄(7月末までで受検資格を満たす場合は記入不要)

勤務先名称	部署	工事種別	従事した立場	年	月
				R5	月
				R5	月

注意事項 この証明事項に事実と相違がある場合は、合格及び受検実績が取り消される場合があります。  
事実と異なる実務経験証明を行い、不正合格者を技術者としている場合、建設業法に基づき処分・告発の対象となり得ます。

現在勤務している会社の事業主による証明が必要です。過去の会社の経験も含めて、現在の勤務先の証明で結構です。受検申込者自身が代表者の場合も必ず「B票」を作成した上で、自分で証明し、証明者との関係欄には「本人」と記入してください。(この場合、自身が代表者であることの確認資料の添付が必要です。)

受検種別に係る建築工事を施工管理等した期間のみの合計を記入してください。

aには、建築施工管理に関するあなたの経験のうち代表的な工事種別(業種)を記入してください。  
bには、aで記入した工事種別のうちあなたの担当した代表的な工事内容を記入してください。  
cには、あなたの工事現場での従事した立場を記入してください。(部長など会社での役職名ではありません。)

工事種別、工事内容、従事した立場は、下表を参考に記入してください。

施工管理等した期間(①～④)の合計を記入してください。

実務経験は勤務先ごとに記入してください。この用紙で書ききれない方は、本用紙を記入前にコピーし、追加記入してください。その場合、追加記入した用紙にも証明者欄(会社又は事業所名、所在地、役職名、氏名)の記入が必要です。

注意

工事種別・工事内容・従事した立場は、下表から選択してください。(P7を必ず参照してください。)  
※受検種別：建築の方は、P19～20の記入例を確認してください。

<p><b>c</b> 従事した立場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施工管理(請負者の立場での現場管理業務)</li> <li>○設計監理(設計者の立場での工事監理業務)</li> <li>○施工監督(発注者の立場での工事監理業務)</li> </ul>
----------------------------	---

受検種別	a 工事種別	b 工事内容
<p><b>躯体</b> (躯体系サブコン等の方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大工工事(躯体) ■型枠工事</li> <li>■とび・土工・コンクリート工事</li> <li>■鋼構造物工事 ■鉄筋工事 ■ブロック工事</li> <li>■解体工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大工工事(躯体) ■型枠工事 ■とび工事 ■足場仮設工事 ■建築物解体工事</li> <li>■困障工事 ■(PC,RC,鋼)杭工事 ■コンクリート工事 ■地盤改良工事</li> <li>■鉄骨工事 ■屋外広告工事 ■鉄筋加工組立工事 ■ガス圧接工事</li> <li>■コンクリートブロック積み工事 等</li> </ul>
<p><b>仕上げ</b> (仕上げ系サブコン等の方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■造作工事 ■左官工事 ■石工事</li> <li>■屋根工事 ■タイル・レンガ工事 ■板金工事</li> <li>■ガラス工事 ■塗装工事 ■防水工事</li> <li>■内装仕上工事 ■建具工事 ■熱絶縁工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■造作工事 ■レンガ積み工事 ■ALCパネル工事 ■サイディング工事</li> <li>■左官工事 ■モルタル工事 ■吹き付け工事 ■とぎ出し工事 ■洗い出し工事</li> <li>■石積み(張り)工事 ■エクステリア工事 ■屋根葺き工事 ■建築板金工事</li> <li>■ガラス加工取り付け工事 ■塗装工事 ■アスファルト防水工事 ■モルタル防水工事</li> <li>■シーリング工事 ■塗膜防水工事 ■シート防水工事 ■注入防水工事</li> <li>■インテリア工事 ■天井仕上工事 ■壁張り工事 ■内部間仕切り壁工事</li> <li>■床仕上げ工事 ■畳工事 ■ふすま工事 ■家具工事 ■防音工事</li> <li>■金属製建具取付工事 ■サッシ取付工事 ■金属製カーテンウォール取付工事</li> <li>■シャッター取付工事 ■木製建具取付工事 ■建築断熱工事 等</li> </ul>